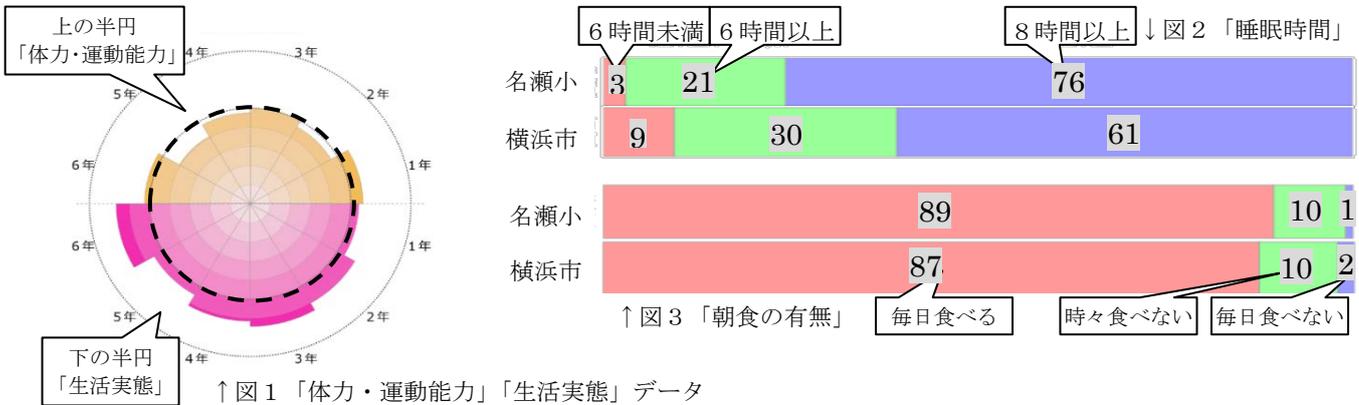


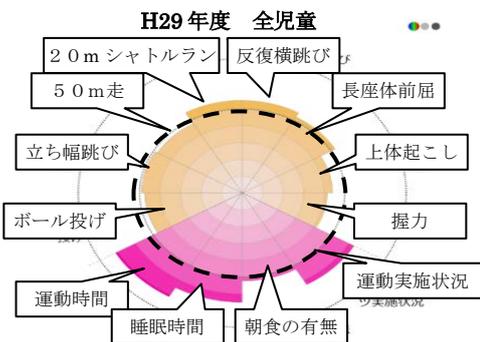
## 平成29年度 体力・運動能力調査より

### 〈 名瀬小学校児童の体育・健康面について 〉

○名瀬小学校の児童は生活実態の数値がどの学年においても市平均（点線内円）より上回っています（図1）。また、睡眠時間が十分にとられており（図2）、朝食もしっかりと取っている（図3）ことから、基本的な生活習慣が整っている児童が多いことがうかがえます。



○毎日、体を動かす児童が増えてきています（図4）。休み時間、約7割の児童が校庭に出て、体を動かし、ドッジボールだけでなく、おにごっこ・鉄棒・一輪車・竹馬・遊具遊びなど、様々な運動を行っています。



○新体力テストの結果では、大体において市平均と同じぐらいの数値です。しかし、その中でも「20mシャトルラン」「反復横跳び」「長座体前屈」の3つが市平均を上回っています。一校一実践の取組（なわ跳びタイム・体づくりタイム）の成果であると考察できます。

○「上体起こし」「握力」「ボール投げ」といった体づくり運動の中の「力強さ」に当たる部分の数値は低い状況です。高学年の体力を高める運動における「力強さ」における授業改善を図っていく必要があります。

### 〈 今後の指導について 〉

#### 【体育学習での取組】

- 様々な運動領域や種目に触れ、運動との出会いや運動経験を増やすことができますようにします。
- 運動の特性を生かした授業づくりを行い、子どもが運動の楽しさや喜びを感じ取れるようにします。
- 心や体に関する健康課題に気付き、健康の大切さを実感できるようにします。
- 新体力テストの結果をレーダーチャート化し、自分の体力について知り、体力を高めていこうとする態度を育てます。

#### 【他の教科などでの取組】

- 様々な運動領域や種目に触れ、運動との出会いや運動経験を増やすことができますようにします。
- 道徳科では、自他の生命の尊重を育てます。
- 保健委員会では、学校内における健康・安全について考える取組を通して、事故やけがの未然防止、病気の予防を図ろうとする態度を育てます。
- いろいろな教科と食育の関連を図り、月に一度、食に関する指導を行ったり、栄養教諭と連携しながら食育に関する授業を行ったりすることで、子どもたちの生活習慣や食習慣のさらなる改善を図ります。
- 「なわとびタイム」「体づくりタイム」を通して、子どもの運動への意欲と運動にかかわろうとする態度を育て、体力の向上、運動の習慣化を図ります。